

閲覧用

第2期丸亀市未来を築く総合戦略 (案)

令和 年 月

丸 亀 市

目 次

1	基本的な考え方	2
	（1）位置づけ	2
	（2）計画期間	2
	（3）丸亀市人口ビジョンに基づく戦略の組立	2
	（4）第2期戦略の構成	2
	（5）総合計画との関係性	4
	（6）持続可能な開発目標（SDGs）との関係性	4
2	第1期戦略の検証	5
3	具体的な施策	8
	（1）人口減少に挑む	8
	（2）人口減少に備える	13
4	進行管理について	19

1 基本的な考え方

(1) 位置づけ

まち・ひと・しごと創生法第 10 条に規定された「当該市町村の区域の実情に応じたまち・ひと・しごと創生に関する施策についての基本的な計画」として、丸亀市では、平成 27 年 10 月に、平成 27 年度から平成 31 年度（令和元年度）までの 5 年間を対象期間とする「丸亀市未来を築く総合戦略」（以下、「第 1 期戦略」という。）を策定しました。

令和元年度、第 1 期戦略の最終年度を迎えることから、引き続き人口減少を克服し、地域活力の向上を目指す取組を推進するため、「第 2 期丸亀市未来を築く総合戦略」（以下、「第 2 期戦略」という。）として改訂を行うものです。

(2) 計画期間

令和 2（2020）年度から令和 6（2024）年度までの 5 年間とします。

(3) 丸亀市人口ビジョンに基づく戦略の組立

「丸亀市人口ビジョン」の改訂では、丸亀市が目指す 2060 年人口を 98,300 人に設定しましたが、その数値が達成されたとしても、これから約 40 年の間に、丸亀市の人口は約 11,000 人、10%程度減少することになります。

よって、人口減少に歯止めをかけ、できる限り人口規模を縮小させないという視点だけでなく、ある程度の人口減少を織り込んで、そのような社会でも豊かに暮らしていけるよう、変化に順応するという視点からも、人口減少対策を講じる必要があります。

そこで、第 2 期戦略では、「人口減少に挑む」と「人口減少に備える」という 2 つの戦略に分けて、それぞれに人口減少を乗り越えるための方策を打ち出しています。

(4) 第 2 期戦略の構成

第 2 期戦略の体系では、2 つの戦略にそれぞれ 2 つずつ基本目標を置き、その下に目標を達成するための基本施策、さらに具体的な取組を結び付けています。

また、基本目標に成果目標、具体的な取組に重要業績評価指標（Key Performance Indicators；KPI）も合わせて定めます。

○第2期戦略の体系

戦略	基本目標	基本施策	具体的な取組	
I 人口減少に挑む	1 自然増を目指す	① ワーク・ライフ・バランスの推進	(1) 民間等への啓発、支援 (2) 子育て支援先進事業者への評価	
		② 結婚・妊娠・出産・子育てに対する不安の解消	(1) 結婚の支援と機運醸成 (2) 不妊治療への助成 (3) 切れ目のない子育て支援体制の確立 (4) 多子世帯の経済的負担の軽減	
		③ 子育て環境の充実	(1) 子どもの遊び場・居場所の確保 (2) 地域子ども・子育て支援事業の充実 (3) 待機児童対策 (4) 認定こども園の導入 (5) 給食費無償化など子育て世代の負担軽減 (6) 小中学校における学習者用コンピュータの整備	
		④ 健康寿命の延伸	(1) フレイルの予防 (2) 健康づくりの啓発、支援 (3) 各種健診の受診勧奨 (4) スポーツによる健康増進	
	2 社会増を目指す	① 丸亀が大好きな子どもの育成	(1) 学校・地域連携教育の推進 (2) 産業教育の充実 (3) インターンシップの充実	
		② 働く環境の充実	(1) ハラスメント対策の強化 (2) 多様な働き方の推進 (3) 働き方改革の推進 (4) 空き店舗・空きオフィスの活用促進	
		③ 地域産業の活性化	(1) 先端技術の活用支援 (2) ニーズに応える中小企業支援 (3) 創業支援事業計画の推進 (4) 農業生産体制の強化 (5) 儲かる農業の推進	
		④ 移住の促進	(1) 移住希望者向けの情報提供の充実 (2) 移住者に対する支援 (3) Uターン希望者への支援 (4) 移住体験の促進	
	II 人口減少に備える	3 魅力を高める	① 地域の魅力発信の強化	(1) 各種広報媒体による地域の魅力発信の強化 (2) ふるさと納税の推進・活用 (3) 丸亀ブランド戦略の確立 (4) インバウンド向けのシティプロモーション
			② 地域資源を生かした観光振興	(1) 丸亀城に特化した観光振興と石垣の復旧復興 (2) 回遊型・滞在型観光の推進 (3) 広域観光の推進 (4) 美食のまち・姉妹都市サンセバスティアンの活用促進 (5) 美術館の新たな経営展開 (6) ボートレースパーク化の推進
③ スポーツによるにぎわいづくり			(1) プロスポーツを活用したにぎわいづくりの推進 (2) 市民球場の利活用促進 (3) 女子サッカーによるまちづくりの推進 (4) スポーツ合宿の誘致	
④ 塩飽諸島の魅力発信			(1) 日本遺産「石の島」の活用促進 (2) 本島リノベーションプロジェクトとの連携 (3) 農泊事業との連携 (4) HOTサンダルなど交流事業の実施	
4 安心を高める		① 誰もが輝くまちづくり	(1) 外国人との共生 (2) 市が率先した障がい者の雇用促進 (3) 女性活躍の推進 (4) 高齢者の生きがい対策	
		② 生活不安の解消	(1) こどもの貧困対策 (2) 医療・介護連携の推進 (3) 高齢者の移動支援 (4) 地域コミュニティの進化 (5) 地域公共交通の充実 (6) 楽しい学校・学級づくりの推進 (7) 外国籍の児童生徒に対する教育支援	
		③ 安心して暮らせるまちづくり	(1) 自主防災組織の充実 (2) 災害時の応援体制の強化 (3) 交通安全、防犯教室による意識啓発	
		④ 多様な連携による地域課題への対応	(1) 定住自立圏域など広域的取組の推進 (2) 大学、高校など教育機関との連携推進 (3) 民間事業者など異業種との連携推進 (4) 市民や市民活動団体などのまちづくりへの参画推進	

(5) 総合計画との関係性

総合計画は、丸亀市の総合的な振興・発展を目的とし、行政運営全体の指針となる各種行政計画の最上位に位置するものです。一方、総合戦略は、人口減少対策に特化した分野別計画と位置づけられます。

(6) 持続可能な開発目標（SDGs）との関係性

国においては、SDGs（*）達成に向けた取組が地方創生の実現に寄与するとの考えから、2017年6月、まち・ひと・しごと創生基本方針2017に「地方公共団体におけるSDGsの推進」が盛り込まれました。

一方で、人口減少社会がもたらす諸課題の克服は、行政だけの力で解決できるものではなく、民間企業をはじめ多様な主体が一丸となって取り組むことが必要であり、このことはSDGsの理念や目標と方向性を同じくするものです。

そこで、第2期戦略でのSDGsに関連する取組については、4つの基本目標を達成するための各基本施策にSDGsのロゴマークを表示し、官民ともに連携して取り組むべき課題であることのメッセージを伝え、地方創生の一層の推進を図ります。

*SDGs（エスディーゼーズ）…Sustainable Development Goalsの略で、2015年9月の国連サミットで採択された2030年を期限とする、先進国を含む国際社会全体の17の持続可能な開発目標。



- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1 貧困をなくそう | 10 人や国の不平等をなくそう |
| 2 飢餓をゼロに | 11 住み続けられるまちづくりを |
| 3 すべての人に健康と福祉を | 12 つくる責任つかう責任 |
| 4 質の高い教育をみんなに | 13 気候変動に具体的な対策を |
| 5 ジェンダー平等を実現しよう | 14 海の豊かさを守ろう |
| 6 安全な水とトイレを世界中に | 15 陸の豊かさを守ろう |
| 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに | 16 平和と公正をすべての人に |
| 8 働きがいも経済成長も | 17 パートナリーシップで目標を達成しよう |
| 9 産業と技術革新の基盤をつくろう | |

2 第1期戦略の検証

第2期戦略の改訂に向けて、第1期戦略の進捗状況を確認するため、基本目標ごとに設定した成果目標と個別のKPIの評価を中心に検証を行います。

(※2019年12月時点の数値に基づいて検証します。)

I 人口減少に挑む

1 自然増を目指す

成果目標の「出生数」は毎年減少傾向で、計画期間5年間の累計目標4,900人の達成は難しい状況となっています。

成果目標	基準値 (2014年度)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	目標値 (2019年度)
出生数(累計)	5,091人 (2010~2014年)	948人	1,923人	2,860人	3,718人		4,900人 (2015~2019年)

KPIでは、「第3子以降の出生数」や「地域子ども・子育て支援事業実施箇所数」が順調に推移しています。一方で、「男性育児休業を取得した人の割合」は改善されているものの、目標値を大きく下回っています。また、「待機児童数」は目標の0人を継続できておらず、健康面の「運動やスポーツをほとんどしていない人の割合」も悪化しています。

具体的な取組	KPI	基準値 (2014年度)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	目標値 (2019年度) 上段:修正後 [下段:当初]
① ワーク・ライフ・バランスの推進	男性育児休業を取得した人の割合	1.6% (2015年)	—	—	—	—	3.8%	15%以上
② 結婚・妊娠・出産・子育てに対する不安の解消	婚姻率の全国平均との差	-0.1 (2013年)	-0.3	-0.2	-0.2	-0.1		+0以上
	第3子以降の出生数	157人	178人	178人	191人	(未発表)		174人
③ 子育て環境の充実	待機児童数(年度途中を含む)	0人	1人 (8月)	1人 (9月)	0人 (10月)	28人 (10月)		0人を継続
	地域子ども・子育て支援事業実施箇所数(累計)	56箇所	63箇所	70箇所	72箇所	79箇所		79箇所 [69箇所]
④ 健康長寿の促進	健康教育・相談の件数	24,573件	24,597件	30,649件	32,526件	31,623件		32,000件 [30,000件]
	「運動やスポーツをほとんどしていない」人の割合	47.6% (2012年)	37.9%	—	—	—	51.2%	20%以下

2 社会増を目指す

成果目標の「社会増減数」は、目標を上回る状況で推移しています。

成果目標	基準値 (2014年度)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	目標値 (2019年度)
社会増減数(累計)	+476人 (2010~2014年)	+359人	+563人	+837人	+806人		+500人 (2015~2019年)

KPIでは、「中心市街地の空き店舗・空きオフィス等活用促進補助件数」や「農業生産法人数」が順調に推移していますが、移住の促進に関する指標は目標値を下回っています。また、「丸亀市に愛着を感じている市内高校生徒の割合」や「市内高校生徒のUターン希望者の割合」も悪化しています。

具体的な取組	KPI	基準値 (2014年度)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	目標値 (2019年度) 上段:修正後 [下段:当初]
① 丸亀が大好きな子ども の育成	丸亀市に愛着を感じている 市内高校生徒の割合	54.5% (2015年)	—	—	—	—	52.3%	70%以上
	市内高校生徒のUターン希 望者の割合	37.9% (2015年)	—	—	—	—	35.9%	50%以上
② 働く環境の充実	定住自立圏域合同就職面 接会による内定者数(累計)	12人 (2014、2015年)	4人	5人	6人	—	—	30人
	中心市街地の空き店舗・空 きオフィス等活用促進補助 件数(累計)	—	2件	7件	11件	14件	—	15件 [10件]
③ 地域産業の活性化	農業生産法人数(累計)	18法人	24法人	29法人	29法人	30法人	—	31法人 [23法人]
	工業製造品の年間出荷額	2,451億円	2,817億円	2,440億円	2,758億円	2,517億円	—	2,850億円 [2,500億円]
④ 移住の促進	市HPの移住定住ページへ のアクセス件数	—	249件 (3月のみ)	8,080件	8,592件	8,647件	—	30,000件
	移住関連フェアやイベントで の相談件数(累計)	0件	20件	37件	48件	71件	—	150件

Ⅱ 人口減少に備える

3 魅力を高める

成果目標の「休日滞在人口率」は減少傾向で、目標値を下回っています。

成果目標	基準値 (2014年度)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	目標値 (2019年度)
休日滞在人口率	1.09倍 (2015年)	1.09	1.08	1.08	1.07	—	1.1倍以上

KPIは概ね順調に推移しており、特に観光振興に関する指標や「スポーツ合宿実施日数」などで成果が上がっています。

具体的な取組	KPI	基準値 (2014年度)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	目標値 (2019年度) 上段:修正後 [下段:当初]
① 誰もが輝くまちづくり	提案型協働事業の実施件 数(累計)	6件 (2010~2014年)	5件	7件	8件	10件	—	15件
	まるがめっと登録団体数	43件	47件	49件	52件	55件	—	58件以上 [50件以上]
② 地域の魅力発信の 強化	地域ブランド調査での認知 度	186位 (2015年)	186位	190位	186位	173位	115位	150位以内
	市公式フェイスブック「いい ね!」の数	1,474件	1,908件	2,337件	2,412件	2,622件	—	3,000件以上
③ 地域資源を生かした 観光振興	市内宿泊者数	38万人	38万人	39万人	46.3万人	51.3万人	—	52万人 [43万人]
	市内観光入込客数	242万人	274万人	291万人	306.7万人	284.7万人	—	300万人 [270万人]
④ スポーツによるにぎ わいづくり	丸亀市民球場を訪れた人の 数	29,998人 (2015.8月末現在)	67,027人	87,804人	77,450人	87,561人	—	90,000人 [80,000人]
	スポーツ合宿実施日数(累 計)	0日	46日	95日	160日	268日	—	300日 [150日]
⑤ 定住自立圏構想の 推進	定住自立圏構想での連携 事業数(累計)	22件	—	22件	24件	24件	—	30件
	行政以外との連携協定締結 数(累計)	3件	4件	5件	8件	10件	—	10件

4 安心を高める

成果目標の「現在、困りごとや不安が特にないと答えた人の割合」は、悪化しています。

成果目標	基準値 (2014年度)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	目標値 (2019年度)
現在、困りごとや不安が特にないと答えた人の割合	32.3% (2015年)	—	—	—	—	30.4%	40%以上

KPIでは、「不登校児童生徒の割合」や「市内の交通事故発生件数」が改善しており、「災害時応援協定締結数」も年々増加しています。一方で、「コミュニティバス乗車人数」や「コミュニティセンター利用者数」は横ばいとなっており、「介護医療情報システム登録者数」は目標値を下回っています。

具体的な取組	KPI	基準値 (2014年度)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	目標値 (2019年度) 上段:修正後 [下段:当初]
① 暮らしやすいまちづくり	コミュニティバス乗車人数	252,863人	258,194人	261,694人	259,228人	256,953人		262,000人 [260,000人]
	コミュニティボランティア清掃活動回数	103回	115回	144回	178回	160回		180回 [150回]
② 生活不安の解消	不登校児童生徒の割合	1.76%	1.85%	1.48%	1.29%	1.23%		1.2%未満
	介護医療情報システム登録者数(累計)	—	149人	421人	448人	494人		1,500人
③ 地域コミュニティの進化	コミュニティセンター利用者数	260,088人	266,172人	261,670人	272,171人	265,385人		300,000人
	コミュニティまちづくり計画策定数(累計)	15地区	17地区	17地区	17地区	17地区		全17地区
④ 緊急時の安全確保	災害時応援協定締結数(累計)	60件	67件	67件	78件	86件		90件 [70件]
	市内の交通事故発生件数	1,216件	1,061件	862件	776件	631件		850件以下 [1,000件以下]

3 具体的な施策

(1) 人口減少に挑む

現状分析と課題

今後、若年女性数が減っていく中で、減少傾向の続く出生数の回復を図るためには、将来に希望を持ち、多くの子が生まれてくるよう、結婚・妊娠・出産・子育てに関する不安解消や負担軽減が必要です。

また、ここ数年は転入超過傾向にある人口移動ですが、高齢化を抑え、理想的な人口構造への転換を図るために、Uターンや子育て世代の転入を一層促進する必要があります。

基本目標 1 自然増を目指す

生まれてくる子どもの数が増えるよう、地域社会全体として、子育てへの理解や関心を深め、若い世代が、このまちで家庭を築き、子どもを産み育てたいと思える環境整備を多方面から進めます。

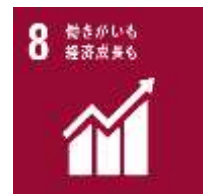
また、健康寿命の延伸を目指し、いつまでも元気で暮らしていけるよう、全ての世代で健康づくりの意識の定着を図ります。

成果目標	基準値 (2019年)	目標値 (2024年)
★出生数 (累計)	(未確定) (2015～2019年)	4,565人 (2020～2024年)

【基本施策と具体的な取組、重要業績評価指標 (KPI)】

①ワーク・ライフ・バランスの推進

ライフスタイルが多様化する中であって、若い世代の出産や育児に対する希望と現実が乖離している一因には、長時間労働の恒常化や家事負担の固定化などがあると考えられます。一人ひとりの希望が叶い、豊かな人生が送れるよう、個人においても、事業所などにおいても、「休み方・働き方」を見つめ直す機運の醸成に取り組みます。



具体的な取組		KPI	基準値 (2018年度)	目標値 (2024年度)
(1)	民間等への啓発、支援	ワーク・ライフ・バランス通 信登録事業所数 (累計)	30社 (2017～2018年度)	125社 (2020～2024年度)
(2)	子育て支援先進事業者へ の評価	男性の育児休業取得促進奨 励金支給件数 (累計)	6件 (2017～2018年度)	10件 (2020～2024年度)

②結婚・妊娠・出産・子育てに対する不安の解消

結婚、妊娠、出産、子育てという人生の大きな転機を迎えるにあたっての心配事は、人それぞれ多岐に渡ります。だれもが家庭を持ち、家族を増やすことに前向きになれるよう、幅広く、切れ目のない支援体制の充実や経済的負担の軽減などに取り組みます。

具体的な取組		K P I	基準値 (2018年度)	目標値 (2024年度)
(1)	結婚の支援と機運醸成	婚姻率の全国平均との差	-0.1	+0 以上
(2)	不妊治療への助成	特定不妊治療補助件数	104 件	120 件
(3)	切れ目のない子育て支援体制の確立	まる育サポート相談対応件数	376 件	400 件
(4)	多子世帯の経済的負担の軽減	第3子以降の出生数	191 人 (2017年)	200 人

③子育て環境の充実

核家族や共働き家庭の増加により、保育ニーズは多種多様化しており、必要なときに、安心して子どもを預けることができる量と質の確保が求められています。様々なケースに応じたサービスや子どもの居場所を提供することにより、充実した子育て環境をつくります。



具体的な取組		K P I	基準値 (2018年度)	目標値 (2024年度)
(1)	子どもの遊び場・居場所の確保	公園整備数（累計）	170 箇所	200 箇所
(2)	地域子ども・子育て支援事業の充実	地域子ども・子育て支援事業実施箇所数（累計）	83 箇所	88 箇所
(3)	待機児童対策	待機児童数（私的待機児童は含まない）	101 人 (2019.4.1 現在)	0 人
(4)	認定こども園の導入	認定こども園設置数（累計）	6	7
(5)	給食費無償化など子育て世代の負担軽減	20～39歳の社会増減数	+1,462 人 (2010～2014年) ※2015年国勢調査	+1,789 人 (2020～2024年)
(6)	小中学校における学習者用コンピュータの整備	学習者用コンピュータ 1 台あたりの児童・生徒数	7.2 人/1 台	3 人/1 台 (2022年度)

④健康寿命の延伸

長く元気で暮らせるよう、早い時期から、心の健康や食事、運動といった様々な分野から健康意識の定着を図るとともに、年齢を重ねても、その時々体力などに応じた健康づくりを促し、健康寿命の延伸を図ります。



具体的な取組		K P I	基準値 (2018年度)	目標値 (2024年度)
(1)	フレイル(*)の予防	元気いっぱい長生き体操参加者数	743人	1,000人
(2)	健康づくりの啓発、支援	健康教育・相談の件数	31,623件	32,000件
(3)	各種健診の受診勧奨	各種健診受診行動者数	33,655人	35,000人
(4)	スポーツによる健康増進	生涯スポーツ参加者数	335,395人	340,000人

*フレイル：加齢に伴い、筋力や認知機能など心身の活力が低下した状態のことで、長期間放っておくと、要介護状態になる可能性が高いと言われている。

基本目標2 社会増を目指す

ここで暮らし続ける人や、一旦は外に出ても戻って来る人が増えるよう、幼い頃から生まれ育った故郷への誇りと愛着を醸成するとともに、ここで暮らしたいと思う人びとが居続けられるよう、地域の特色を生かした産業の活性化に取り組み、働きやすい環境づくり、働く場の確保に努めます。

また、ここで暮らしたことがない人が住んでみたいという気持ちになるよう、地域の特色や良さを伝えるとともに、移り住みやすい環境を整えます。

成果目標	基準値（2019年）	目標値（2024年）
★転入者数（累計）	（未確定） （2015～2019年）	22,000人（暫定） （2020～2024年）

【基本施策と具体的な取組、重要業績評価指標（KPI）】

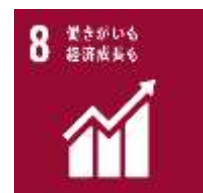
①丸亀が大好きな子どもの育成

子どもの頃から、様々な機会に歴史や産業、文化芸術、スポーツといった地域の良さに触れることで、郷土を愛する心を育み、将来、地域に貢献する人材の育成に繋がります。また、そうした子どもたちが、一旦は外に出ても、帰りたいと望んだ時に帰って来やすい環境を整えます。

具体的な取組	KPI	基準値 （2018年度）	目標値 （2024年度）
(1) 学校・地域連携教育の推進	地域学校協働本部設置数(累計)	5校	10校
(2) 産業教育の充実	地元企業PR事業実施校数(累計)	2校 （2019年度）	19校 （2020～2024年度）
(3) インターンシップの充実	採用内定数（累計）	2人 （2018年度参加者）	22人 （2020～2024年度）

②働く環境の充実

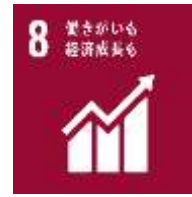
若い世代の転出が多い要因には、働く場の問題が大きく影響しています。働きやすい労働環境や多様な働き方を推進し、地元就労を促進します。また、創業にチャレンジする人を支援し、長く働ける環境づくりに取り組みます。



具体的な取組	KPI	基準値 （2018年度）	目標値 （2024年度）
(1) ハラスメント対策の強化	企業訪問社数（延べ数）	13社	50社
(2) 多様な働き方の推進	職場環境改善補助件数	5件	5件
(3) 働き方改革の推進	キッズウィークの休暇取得率	17.4%	50%
(4) 空き店舗・空きオフィスの活用促進	中心市街地の空き店舗・空きオフィス等活用促進補助件数(累計)	3件	15件 （2020～2024年度）

③地域産業の活性化

地域経済の低迷は、地域活力の衰退に直結しかねないことから、地元企業のニーズを正確に把握した上で、それに即した支援を行い、稼ぐ力のある産業への成長を促すとともに、雇用の増大を図ります。



具体的な取組		K P I	基準値 (2018 年度)	目標値 (2024 年度)
(1)	先端技術の活用支援	広域自治体等人工知能活用推進協議会の講習等参加事業者数（累計）	—	5 社
(2)	ニーズに応える中小企業支援	産業振興支援補助金補助件数	122 件	130 件
(3)	創業支援事業計画の推進	創業相談後起業件数／創業相談件数	—／14 件	5 件／20 件
(4)	農業生産体制の強化	農業生産法人数（累計）	30 法人	35 法人
(5)	儲かる農業の推進	6 次産業化マッチング件数（累計）	4 件 (2016～2018 年度)	5 件 (2020～2024 年度)

④移住の促進

自然災害が少なく暮らしやすいまちという利点を生かして、外からの興味を喚起できるよう、情報発信の強化や体験機会の創出に取り組むとともに、移住者に暮らしやすさを実感してもらえよう、移住後の支援に力を入れ、外から人を呼び込みます。

具体的な取組		K P I	基準値 (2018 年度)	目標値 (2024 年度)
(1)	移住希望者向けの情報提供の充実	市HP移住定住ページアクセス件数	8,647 件	9,000 件
(2)	移住者に対する支援	定住促進民間賃貸住宅家賃補助新規受付件数	26 件	30 件
(3)	Uターン希望者への支援	東京圏U J I ターン移住支援事業補助件数（累計）	—	15 件
(4)	移住体験の促進	離島移住促進モデル事業利用者数	63 人	100 人

(2) 人口減少に備える

現状分析と課題

丸亀城をはじめとする歴史文化遺産や美しい瀬戸内海と塩飽諸島、猪熊弦一郎現代美術館など、これまで多くの人を引き寄せてきた地域資源の魅力をさらに高め、常に人を呼び込める仕掛けを打ち出すことが必要です。

また、各地で起こる様々な災害や事件などにより、人々が日常生活への不安を募らせ、地域の絆、連帯感の必要性が見直される中で、地域コミュニティを中心とした安心して暮らせる地域づくりをさらに進めていく必要があります。

基本目標3 魅力を高める

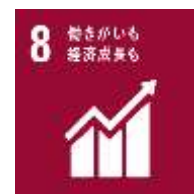
人口減少に伴う地方消費の減少を補う観点から、交流人口や関係人口の拡大を図る取組が一層重要となってきます。歴史・文化・芸術といった財産やスポーツ拠点など丸亀市特有の地域資源を有効に活用するとともに、民間や広域との連携を促進することで、地域活性化を図ります。

成果目標	基準値 (2019年)	目標値 (2024年)
★休日滞在人口率	1.07倍 (2018年)	1.1倍以上

【基本施策と具体的な取組、重要業績評価指標 (KPI)】

①地域の魅力発信の強化

新しい人やものの流れを作る第一歩として、地域を知ってもらうことが重要です。1つでも多く地域の魅力を掘り起こし、広く内外に発信することで、地域の知名度を向上させます。



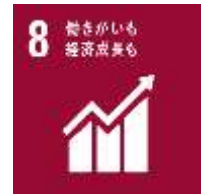
具体的な取組		KPI	基準値 (2018年度)	目標値 (2024年度)
(1)	各種広報媒体による地域の魅力発信の強化	市HPの観光情報アクセス件数	155,273件	170,500件
(2)	ふるさと納税の推進・活用	寄附件数	3,500件 (2019年度見込み)	4,500件
(3)	丸亀ブランド戦略の確立	地域ブランド調査での認知度(*)	115位 (2019年度)	100位以内
(4)	インバウンド向けのシティプロモーション	外国人滞在者数(夜間)	25,315人	30,000人

*全国約1,000市区町村と47都道府県のうち、「そのまちをどの程度知っているか」についてのランキング。

(出典：地域ブランド調査ハンドブック)

②地域資源を生かした観光振興

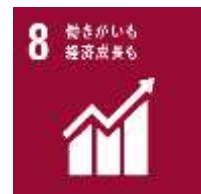
長く受け継がれてきた貴重な歴史文化遺産、リニューアルオープンする猪熊弦一郎現代美術館、新たに整備する新市民会館など、丸亀市特有の地域資源を観光資源として有効に活用するとともに、満足度の高い観光地となるよう趣向を凝らし、人を呼び込みます。



具体的な取組		K P I	基準値 (2018年度)	目標値 (2024年度)
(1)	丸亀城に特化した観光振興と石垣の復旧復興	丸亀城天守入場者数	106,757人	140,000人
(2)	回遊型・滞在型観光の推進	市内宿泊者数	51.3万人	60万人
(3)	広域観光の推進	市内観光入込客数	284.7万人	350万人
(4)	美食のまち・姉妹都市サンセバスティアンの活用促進	チャコリウィーク連携事業者数	26社 (2019年度)	50社
(5)	美術館の新たな経営展開	猪熊弦一郎現代美術館入館者数	116,441人 (2016年度)	130,000人
(6)	ポートルースパーク化の推進	GⅢ・一般戦の1日平均入場者数	1,628人	1,800人

③スポーツによるにぎわいづくり

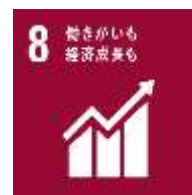
県立丸亀競技場や丸亀市民球場といったスポーツ施設が立地する優位性を生かして、スポーツイベントやプロスポーツと連携したにぎわいづくりを進めるとともに、スポーツが市民生活に根付き、スポーツを目的に人が訪れる「スポーツのまち」としてのイメージ定着を図ります。



具体的な取組		K P I	基準値 (2018年度)	目標値 (2024年度)
(1)	プロスポーツを活用したにぎわいづくりの推進	ホームタウンDAYの来場者数	6,668人	6,800人
(2)	市民球場の利活用促進	市民球場を訪れた人の数	87,561人	90,000人
(3)	女子サッカーによるまちづくりの推進	なでしこ交流大会参加チーム数	11チーム	16チーム
(4)	スポーツ合宿の誘致	スポーツ合宿実施日数	108日	120日

④塩飽諸島の魅力発信

美しい瀬戸内海と塩飽諸島の魅力は、瀬戸内国際芸術祭を起爆剤として、さらに国内外に広まっています。今後も、IT環境の整備のほか、日本遺産「石の島」の活用、民間での離島活性化に向けた動きなど、様々な要素を追い風として、離島における交流人口や関係人口の増進を図ります。



具体的な取組		K P I	基準値 (2018 年度)	目標値 (2024 年度)
(1)	日本遺産「石の島」の活用促進	塩飽勤番所・笠島まち並保存センター入場者数	4,110 人	5,000 人
(2)	本島リノベーションプロジェクトとの連携	本島での離島移住促進事業補助件数（累計）	1 件 (2017~2018 年度)	5 件 (2020~2024 年度)
(3)	農泊事業との連携	尾上邸利用者数	—	200 人
(4)	HOTサンダルなど交流事業の実施	HOTサンダルプロジェクト参加者数（累計）	183 人 (2012~2018 年度)	330 人

基本目標4 安心を高める

あらゆる世代が、いろいろな不安や悩みを抱える中で、それぞれの段階に応じて、安心して暮らしていけるよう、とりわけ、増加が見込まれる高齢者や社会生活の様々な場面で弱い立場に置かれている人たちに寄り添い、生活不安の解消を図ります。

また、地域コミュニティを中心として、互いに見守り、必要に応じて助け合える地域社会の形成に取り組むほか、民間事業者や教育機関など多様な主体との連携により地域課題の解決を図ります。

成果目標	基準値（2019年）	目標値（2024年）
★転出者数（累計）	（未確定） （2015～2019年）	21,000人（暫定） （2020～2024年）

【基本施策と具体的な取組、重要業績評価指標（KPI）】

①誰もが輝くまちづくり

性別、年齢などにかかわらず、あらゆる立場の人びとが、まちづくりに参加でき、いろいろな場面で活躍できる環境を整えるとともに、多様な能力の開発や向上を目指せる場をつくり出します。



具体的な取組		KPI	基準値 （2018年度）	目標値 （2024年度）
(1)	外国人との共生	外国人人口に占める延べ相談件数の割合	75% （2015～2018年度平均）	75%以上
(2)	市が率先した障がい者の雇用促進	市役所の障がい者雇用率	市長部局 1.92%、教育委員会 0.42%	市長部局、教育委員会、ポートレース事業局それぞれ2.6%
(3)	女性活躍の推進	瀬戸内中讃定住自立圏女性活躍推進協議会主催イベント参加者数	203人	200人
(4)	高齢者の生きがい対策	シルバー人材センター就業実人員数	824人	870人

②生活不安の解消

だれもが、どんな時でも安心して生活できるよう、様々な世代に応じた不安の解消を図るとともに、移動や買い物など身近な困り事に対応できるよう、きめ細かな支援に取り組みます。



具体的な取組		K P I	基準値 (2018 年度)	目標値 (2024 年度)
(1)	こどもの貧困対策	児童扶養手当の受給児童数の割合	9.30%	↓
(2)	医療・介護連携の推進	介護医療情報システム登録者数（累計）	494 人	650 人
(3)	高齢者の移動支援	移動支援事業の実施箇所数（累計）	3 地区	5 地区
(4)	地域コミュニティの進化	コミュニティセンター利用者数	265,385 人	285,000 人
(5)	地域公共交通の充実	コミュニティバス乗車人数	256,953 人	263,000 人
(6)	楽しい学校・学級づくりの推進	学校が楽しいと感じる児童・生徒の割合（7月実施アンケート分）	小学校 91.4% 中学校 90.4% (2019 年)	小学校 93.5% 中学校 92.5%
(7)	外国籍の児童生徒に対する教育支援	にほんご教室等受講者数	39 人	50 人

③安心して暮らせるまちづくり

自然災害や突然の事故や事件によって、生活の安全が脅かされないよう、平時から安全確保に対する意識を啓発し、事故や事件の未然防止を図るとともに、有事の際には、様々な事象に迅速かつ適切に対応できる体制を整備します。



具体的な取組		K P I	基準値 (2018 年度)	目標値 (2024 年度)
(1)	自主防災組織の充実	地域の自主防災訓練参加人数	3,354 人	4,600 人
(2)	災害時の応援体制の強化	災害時応援協定締結数（累計）	86 件	130 件
(3)	交通安全、防犯教室による意識啓発	市内の交通事故発生件数	631 件	440 件
		市内の犯罪発生件数	554 件	440 件

④多様な連携による地域課題への対応

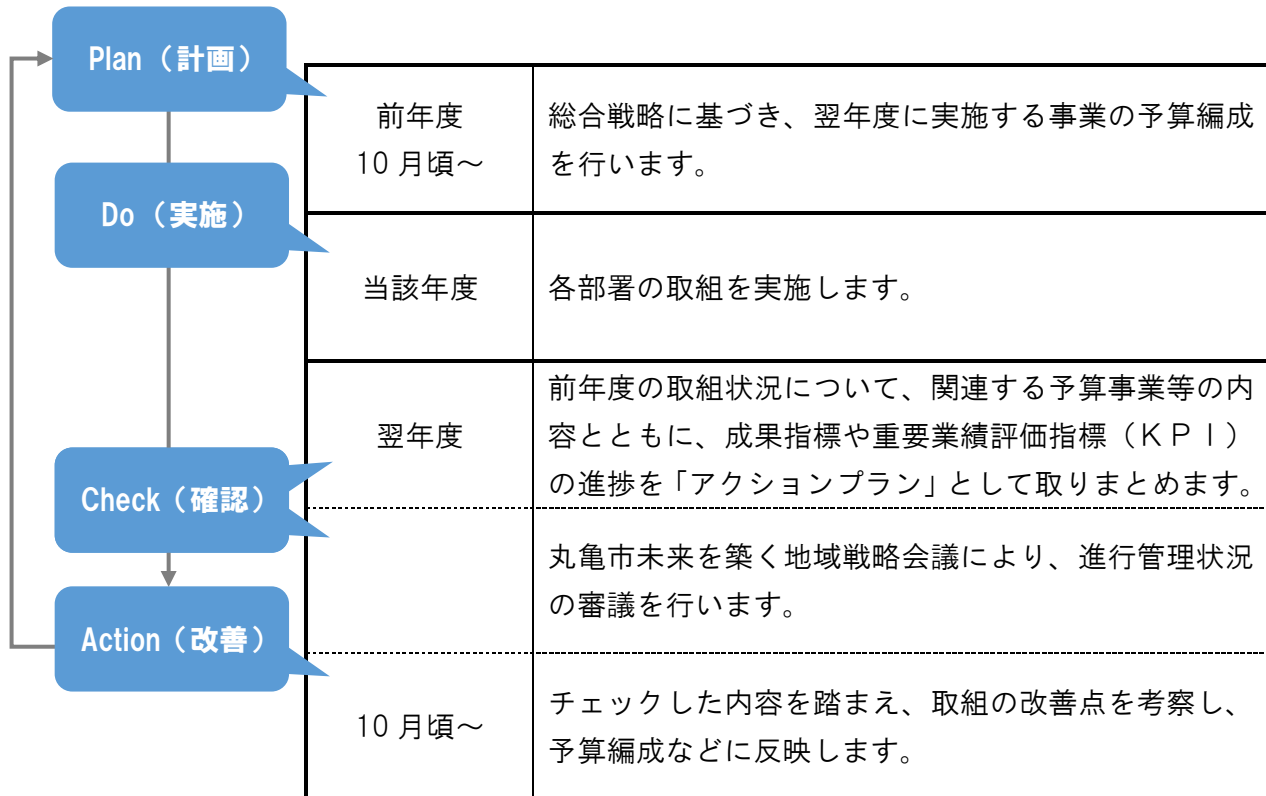
地域課題の解決にあたっては、単一の自治体の枠組に留まらず、自治体間の広域的な連携や異なる分野との連携が求められています。引き続き、中讃2市3町（丸亀市、善通寺市、多度津町、まんのう町、琴平町）の定住自立圏構想での取組を深化させるとともに、産学官金労言といった異業種との連携を推進し、幅広く課題解決を図ります。



具体的な取組		K P I	基準値 (2018 年度)	目標値 (2024 年度)
(1)	定住自立圏域など広域的取組の推進	定住自立圏構想での連携事業数（累計）	24 件	30 件
(2)	大学、高校など教育機関との連携推進	学生ボランティア参加人数	1,472 人	1,500 人
(3)	民間事業者など異業種との連携推進	行政以外との連携協定締結数（累計）	10 件	15 件
(4)	市民や市民活動団体などのまちづくりへの参画推進	(仮称)市民交流活動センター利用者数	—	70 万人

4 進行管理について

第2期戦略を着実に推進していくため、丸亀市では下記のPDCAサイクルに基づき、進行管理を行います。進行管理の内容は公表し、取組の成果を明らかにします。



(「アクションプラン」のイメージ)

戦略1：自然増を目指す
 基本施策：①ワーク・ライフ・バランスの推進
 具体的な取組：(2)子育て支援先進事業者への評価
 予算事業等：男女共同参画事業費

○重要業績評価指標（KPI）

基準値 (2018)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	目標値 (2024)
6件	○件	○件	○件	○件	○件	18件

○取組の計画と進行管理

年度	計画	進行管理	
		評価	状況・結果
2020 (R2)	○○○…	○	○○○…
2021 (R3)	○○○…	○	○○○…
		⋮	
		⋮	
		⋮	

第 2 期丸亀市未来を築く総合戦略

発行：2020 年（令和 2 年） 月

作成：丸亀市 市長公室 秘書政策課
〒763-8501

香川県丸亀市大手町二丁目 3 番 1 号

TEL：0877-24-8839

FAX：0877-24-8860

E-mail：seisaku-t@city.marugame.lg.jp